

# 医学研究実施のお知らせ

函館五稜郭病院（呼吸器内科）では倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を得て以下の研究を実施しております。このお知らせは、「文部科学省・厚生労働省 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。

## 【研究課題名】

非小細胞肺癌における経気管支クライオ生検(TBCB)検体を用いた  
三次リンパ様構造(TLS)評価の妥当性検証：外科切除検体との対比による後方視的検討

## 【研究の概要】

### ●目的

近年、肺癌の薬物療法において「免疫チェックポイント阻害薬」が重要な役割を果たしています。この薬が効くかどうかを予測する因子として、腫瘍の中にできる免疫細胞の集まりである「三次リンパ様構造(TLS)」が注目されています。

これまでは手術で切除した大きな検体でなければ TLS の評価は難しいとされていましたが、近年普及している「経気管支クライオ生検(TBCB)」は、従来よりも大きく質の良い検体を採取できるため、手術前の段階で TLS を評価できる可能性があります。

本研究では、過去に当院で「クライオ生検」と「手術」の両方を受けた患者さんの検体を比較し、クライオ生検でも手術検体と同じ精度で TLS を診断できるかを検証することを目的としています。

### ●対象となる方

2023年1月1日から2025年12月31日までの間に、当院で術前診断目的に経気管支クライオ生検(TBCB)を受け、その後、肺癌に対する外科的切除手術を施行された患者さん。

### ●研究期間

倫理委員会承認日～2027年12月31日までです。

### ●研究に利用する試料、情報等

・患者さんの背景(年齢、性別、病期、遺伝子変異の有無など)

・保存されている病理検体(パラフィンブロック)

※本研究のために、保存検体を用いて追加の染色(免疫染色)を行いますが、検体がなくなることはありません。

・病理診断の結果(組織型、TLSの有無など)

●プライバシーの保護

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報を削除し、当院で発行した匿名化 ID 番号を使用しますので個人情報が外部に漏れることはありません。

●研究の成果

この研究で得られた研究結果は学会や学術雑誌で発表を行う予定です。その際も個人が特定できる情報は利用しません。

【本研究に関する問い合わせ先】

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、この研究に試料・情報を用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果などからあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

函館五稜郭病院 呼吸器内科

研究責任医師：角 俊行

共同研究者：四十坊 直貴

共同研究者：杉田 真太郎（病理診断科）

共同研究者：有岡 琴美（病理診断科）

共同研究者：山田 裕一

共同研究者：奈良岡 妙佳

共同研究者：武田 和也

共同研究者：石郷岡 大樹

共同研究者：上原 浩文

共同研究者：佐藤 太軌

共同研究者：佐藤 和輝

電話：0138-51-2295（病院代表番号）

（対応時間：平日 9：00～17:00 呼吸器内科外来）